

# 就学前教育カリキュラム改訂版 ハンドブック

【新幼稚園教育要領等対応】

平成 30 年 3 月

東京都教育委員会

# はじめに

東京都教育庁  
指導部長 増 渕 達 夫

東京都教育委員会では、平成 28 年 4 月に「東京都教育ビジョン（第 3 次）」の一部改定を行い、「就学前教育の質の向上」及び「小学校を拠点とする就学前教育と小学校教育との円滑な接続」に向けた取組の推進を図ることとしました。

また、平成 29 年 3 月には、幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂・改定が同時に告示され、就学前施設における教育及び保育のねらいや内容等の一層の整合性が確保されました。

新幼稚園教育要領等では、子供に生きる力の基礎を培うため、就学前教育において育みたい資質・能力が明確に示されました。さらに、この資質・能力が育まれている子供の具体的な姿が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として新たに示されるとともに、保育者には子供の発達と学びの連続性を踏まえた、それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねることが求められています。

また、平成 32 年度から全面実施される小学校学習指導要領においても、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫が求められており、就学前教育と小学校教育との緊密な連携と円滑な接続は、今後ますます重要な課題となってきます。

東京都教育委員会は、そのような状況を受け、この度「就学前教育カリキュラム改訂版ハンドブック【新幼稚園教育要領等対応】」を作成いたしました。本ハンドブックは、「就学前教育カリキュラム改訂版」（平成 28 年 3 月）から要点となる内容を抜粋し、新幼稚園教育要領等に対応するよう内容を再校正したものです。

新幼稚園教育要領等の内容への理解を深め、子供たちの発達と学びの連続性を十分に踏まえた就学前教育の充実と質の向上を図るために、本ハンドブックを是非御活用ください。

# 目次

◇ はじめに

◇ 目次

## 第1章 総説

1	生きる力の基礎を培う就学前教育の充実	6
	(1) 乳幼児期の教育及び保育の重要性	6
	(2) 子供の発達と学びの連続性を踏まえた教育及び保育の充実	6
2	就学前教育カリキュラム改訂版の基本的な考え方	10
	(1) 生きる力の基礎を身に付けた子供像	10
	(2) 乳幼児期の子供の発達に応じて確実に経験させたい内容の視点	12
	(3) 乳幼児期の子供の発達過程の区分についての考え方	14
	(4) 0歳児から5歳児の発達に応じて確実に経験させたい内容	15
3	就学前教育カリキュラム改訂版を活用した教育課程の編成など	20

## 第2章 教育課程（保育所、幼保連携型認定こども園における全体的な計画）

1	教育課程（全体的な計画）の見方	22
2	0歳児から5歳児の教育課程（全体的な計画）	
	0歳児	23
	1歳児	27
	2歳児	32
	3歳児	37
	4歳児	43
	5歳児	48

<参考> 0歳児から2歳児の発達過程

改訂版 P86～96 を御覧ください。

### 小学校入門期における指導の接続

- 1 小学校入門期の各教科等における指導の接続
  - (1) 各教科等における指導の接続のポイント
  - (2) 小学校入門期の各教科等の指導例
- 2 小学校入門期の日常生活における指導の接続

改訂版 P98～112 を御覧ください。

### 第3章 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえた就学前教育の充実

1	一日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	54
	(1) 全体的な計画の作成	54
	(2) 一日の生活の連続性及びリズムの多様性に配慮した教育及び保育の工夫	54
	(3) 用語及び設定	54
	(4) 教育活動後の年間指導計画例（期ごと）	55
	3歳児Ⅰ期（4月～5月上旬）	56
	3歳児Ⅱ期（5月中旬～9月上旬）	58
	3歳児Ⅲ期（9月中旬～10月）	60
	3歳児Ⅳ期（11月～12月）	62
	3歳児Ⅴ期（1月～3月）	64
	4歳児Ⅰ期（4月～5月）	66
	4歳児Ⅱ期（6月～9月上旬）	68
	4歳児Ⅲ期（9月中旬～10月）	70
	4歳児Ⅳ期（11月～12月）	72
	4歳児Ⅴ期（1月～3月）	74
	5歳児Ⅰ期（4月～5月）	76
	5歳児Ⅱ期（6月～9月上旬）	78
	5歳児Ⅲ期（9月中旬～10月）	80
	5歳児Ⅳ期（11月～12月）	82
	5歳児Ⅴ期（1月～3月）	84

(5) 教育活動後の指導計画例（日ごと）

- 4月～5月
- 6月～12月
- 1月～3月
- 長期休業期間中（7月～8月）
- 運動会前の時期

改訂版 P150～189 を  
御覧ください。

2	就学前教育施設における特別支援教育の推進
	(1) 実態を捉えるための視点（0・1・2歳児 —参考—）
	(2) 「幼稚園教育の機能」を生かした指導の工夫（3・4・5歳児 —参考—）
3	保護者に対する子育ての支援
	(1) 幼保連携型認定こども園の園児の保護者に対する子育ての支援例
	(2) 地域における子育て家庭の保護者等に対する支援例